

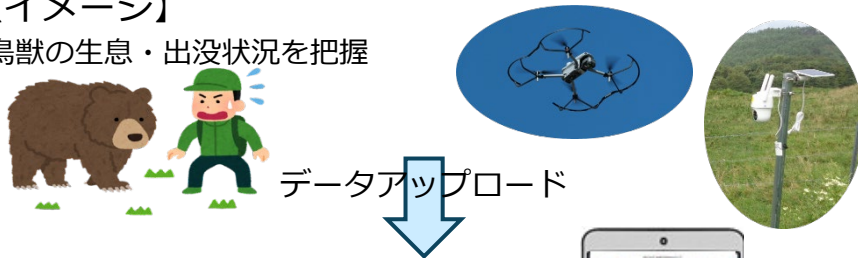
実施年度	実施主体	対象獣種	取組内容			
			捕獲	追払	点検	他
R7～R9	岩手県奥州市 (奥州市鳥獣被害防止総合対策協議会)	全般	○	○	—	◎

事業概要

- ・センサーカメラ及びドローンにより生息・出没状況を把握・解析してデジタルマップを作成し、住民と情報共有することで、地域ぐるみの対策を推進
- ・データに基づく捕獲や遠隔監視・自動操作システム等を活用した効率的なスマート捕獲体制整備による被害防止対策の実施
- ・研修会の開催による新技術の普及・定着の促進

【イメージ】

鳥獣の生息・出没状況を把握



伊手地区  
鳥獣デジタルマップ

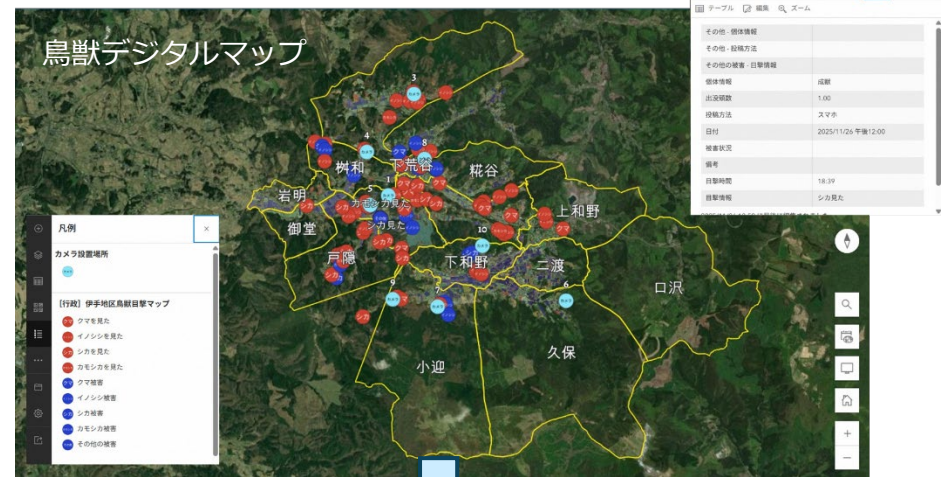
データに基づく対策

(捕獲活動への活用)  
新技術による効果的な  
捕獲の実施



地域ぐるみの被害防  
止対策への活用（農  
作物・クマ対策等）


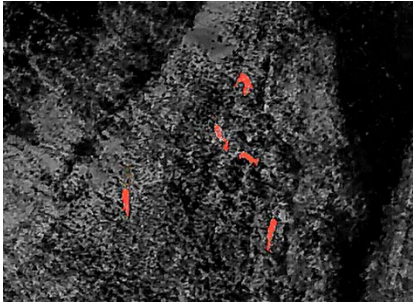
【データの利用イメージ】



【活用例】

- ・効果的なわなの設置
- ・電気柵設置箇所の選定等



	R7年度実績	次年度以降実施予定
<p>実証内容</p>	<p>鳥獣デジタルマップの作成、生息・被害状況等データの収集・活用</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>過去3年間伊手地域で蓄積してきた紙媒体の情報（目撃情報や被害状況、放任果樹の場所等）をGISに入力し、デジタルマップを作成。</li> <li><b>センサーカメラ、ドローンによる生息状況調査等</b>を実施し、データを専用のマップアプリ上で整理するとともに、<b>デジタルマップにも掲載</b>。</li> <li>更に住民等によるデジタルマップへの目撃情報等の投稿も可能にすることで、データの充実化を試行的に実施。</li> </ul> <p>スマート捕獲</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>遠隔監視・自動操作システムの困いわなを設置し、9月～3月の間にイノシシ5頭を捕獲。</li> </ul> <p>研修会の開催</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>地域ぐるみでの対策体制の構築に向け、定期的に住民を対象に鳥獣対策の知識の学習や技術の実践を行う「けもの大学」において、スマート対策についての研修を実施。</li> </ul> <div style="display: flex; justify-content: space-around;"> <div style="text-align: center;"> <p>センサーカメラ撮影結果</p>  </div> <div style="text-align: center;"> <p>ドローン撮影結果</p>  </div> </div>	<ul style="list-style-type: none"> <li>センサーカメラやドローンによる生息状況調査、ICT機器を活用した捕獲の実践、デジタルマップの活用、けもの大学の継続するとともに、捕獲や防除対策へのデジタルマップの効果的な活用方法について、更なる検討を行う。</li> <li>センサーカメラで撮影した膨大な映像から<b>自動で獣種判別するソフトの実証</b>を行い、<b>データ解析の効率化</b>を図る。</li> <li>果樹（りんご）へ被害を与えている鳥類に対する<b>ICT機器（鳥類の自動識別と赤外線照射）を活用した防除対策</b>の実践。</li> </ul>
<p>導入機器 ※交付金活用外の機器を含む</p>	<ul style="list-style-type: none"> <li>鳥獣目撃情報集約マップ</li> <li>ソーラー式センサーカメラ MC1 (Azx) 10台</li> <li>ドローン Matrice4TPlusコンボ (DJI) 1機</li> <li>遠隔監視・自動操作システム まるみえホカクン5 (MMH5-100) (アイエスイー) 1式</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>防鳥システム 1式</li> </ul>